



聚楽館と映画の宣伝カー（平字一町目）
1953年8月 飯田家提供



聚楽館に残る明治時代の「錦画集」
歌舞伎の名場面や役者の木版画が収められている。平唯一の常設舞台として創建された聚楽館は、芝居や演説の会場として広く利用され、抱え芝居の一座が裏の楽屋に起居し、いわき地方一帯に巡業したという。



三函座（常磐湯本町） 1964年 常磐市撮影

いわき地方で、映画が初めて上映された 1899（明治 32）年当時、人々の娯楽の中心は芝居でした。大正時代に入り「活動写真」と呼ばれた無声映画が、芝居の劇場で上映され、新たな娯楽となっていました。

芝居の劇場の多くは、映画との兼用時代を経て、映画常設館となります。1905 年に現在のいわき市平字一町目に常設舞台として創建された聚楽館(しゅうらくかん)は、1937(昭和 12)年、映画常設館となりました。

1950 年代になると、映画の人気は絶頂期を迎える、いわき地方でも 1959 年には 47 館の常設映画館がありました。

聚楽館は、いわき地方での洋画上映館のさきがけとして、不朽の名作を上映しています。

本展では、明治から平成にかけて営業していた聚楽館の関連資料を展観するとともに、いわき各地の映画館の写真などで、当時の映画文化を紹介します。



洋画上映館であることを PR するのぼり旗



福島座（小川町高萩字山ノ入）
1917年頃 郵便絵はがき

会期中の催しのご案内

※新型コロナウイルス感染症対策のため、申込方法や定員、会場等の変更、または入場制限を行う場合があります。

スポット展示「草野天平」 1月2日㈯～3月28日㈰

文学館常設展示室内 要観覧券

いわきゆかりの詩人で草野心平の弟・草野天平（くさのてんぺい 1910～1952）の生涯と作品の魅力を紹介します。

草野天平の集い いわき市草野心平生家 要事前申し込み

2月28日㈰ 13時30分～14時30分 ※詳細は文学館公式サイトにて

居酒屋「火の車」一日開店 文学館ボランティアの会事業

文学館常設展示室内 要観覧券・要参加費 要事前申し込み

3月14日㈰ 11時～12時 ※詳細は文学館公式サイトにて

朗読サロン 文学館ボランティアの会事業 文学館小講堂 参加無料

2月6日㈯、3月6日㈯ いずれも 11時～12時

楽しみながら朗読を学びます。お気軽にご参加下さい。

文学館えほんのひろば

アトリウムロビーのえほんのひろばは、どなたでも無料でご利用いただけます。豊かな自然の中で、ぜひお楽しみください。

